



高台

千歳市立高台小学校 学校通信No.12 令和2年3月9日

3月の生活目標

「学年のまとめをしよう」

1. 学校の外でも元気にあいさつをしよう
2. 時計を見て行動しよう
3. 学習に必要なものだけをきちんと机の上に準備しよう

「多様性のある社会を生きるために」

校長 安 栄 智 裕

新型コロナウイルス感染症拡大防止にむけて、現在、休校対応をしております。保護者・地域の皆様のご協力にこの場をお借りしてお礼申し上げます。今後の対応につきましては決まり次第皆様に情報提供いたしますので学校からのメールや学校 HP、千歳市 HP などの確認をお願いいたします。

先日、本校児童も派遣された米国アラスカ州アンカレジ市サンドレイク小学校交流事業の報告会に参加してきました。市内小学生18名が1週間の日程で現地を訪問した様子について、スライドを使いながら代表児童が発表していました。山口市長さんをはじめ多くの方が聴いている中、礼儀作法や話し方など一生懸命練習したことが見える立派な発表でした。

この日は、他にもアンカレジ市との姉妹都市提携50周年を記念した英語スピーチコンテストで素晴らしい成績をあげ派遣された千歳高校生の報告。千歳アイヌ文化国際交流事業報告もありました。高校生2名の発表は、自分たちが現地で感じたことや今後取り組みたいことなど小中学生の手本となる内容でした。また、アイヌ文化伝承保存会の方の報告は、先住民族同士のこれからの交流やアイヌ文化の継承について考えるきっかけを頂いたものとなりました。

報告会の最後には、JICA 海外協力隊員として活動された3名の方のお話でした。本校から参加した児童も薬剤師の方の活動に興味をもち、「自分も薬剤師になって外国で仕事するのもカッコいいなと思いました」という感想を話してくれました。子どもたちには、日本ばかりでなく、広く世界で活躍することを期待しています。

さて、国際空港を持つ千歳市では、今後ますます外国の方との出会いや交流が増えるものと思います。本校で身につけさせたい資質・能力の一つとして「故郷・地域に思いをよせて活動する力」を掲げ、「国際都市千歳市で生活に役立てる語学力・コミュニケーション力がある子ども」の育成に取り組んで参ります。国際化や AI・IoT などの技術発達、予測困難な未来を生きる子どもたちには、社会の多様性に適応する力が必要と考えるからです。そんな折、『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』（レイティみかこ著：新潮社）を読みました。父はアイルランド人、母は日本人、英国の現地中学校で学ぶ「ぼく」と周囲の人々との日常の出来事を綴ったものです。夏休み、日本に帰省中の一節がありました。プール帰りのバスの中での母レイティさんと息子「ぼく」の会話です。

※安栄注釈 前段に「ぼく」と同じような生い立ちのアメリカ在住の「少年」と二人でプールで遊んでいます。「少年」は日本語がわかりますが、「ぼく」は日本語がわかりません。周りにはたくさんの日本の子どももいる状況です。

そのときの二人の会話を母が聞いていました。

母：「今日、プールでさ、『ハーフ』って日本語の話してたじゃない」

「うん、ひどい表現」

と息子が言うので、わたしは一応、日本でもそれは PC（ポリティカル・コレクト）的に問題視されていることを言っておかなければと思った。

「でもね、最近は、『ダブル』っていう人が増えてるみたい。『ハーフ』じゃなくて、『ダブル』」

わたしがそう言うと、息子はちょっと考えるように窓の外に目をやって、またこちらを向いて答えた。

「それともなんか、僕は違和感ある。半分ってのはひどいけど、いきなり2倍にならなくてもいいじゃん。『ハーフ・アンド・ハーフ』でいいんじゃない？ 半分と半分为足したら、みんなと同じ『1』になるでしょ」

英国でも最近は「MIXED RACE」という表現は・・・中略・・・「自分は複数の人種が混ざっていることに誇りをもって『MIXED』という言葉を使っている」という人もいるし、それは当事者たちの中でも意見の統一を見ないところである。

「『ハーフ』とか『ダブル』とか、半分にしたり2倍にしたりしたら、どちらにしてもみんなと違うものになってしまうでしょ。みんな同じ『1』でいいじゃない」

とうちの息子が数量にこだわるのは、もしかしたら数学が好きだからかもしれないが、バスの中でじろじろ見られるのが嫌だと泣いていた3歳の頃の小さな横顔が、窓の外を見ている息子の顔に重なった気がした。

多様性について、筆者は、「多様性ってやつは喧嘩や衝突が絶えないし、ないほうが楽よ。でも多様性があるのがいい。」と述べ、子どもの「楽じゃないものが、どうしていいの？」の疑問には「楽ばかりしていると無知になるから」と答えます。

同じ一つの事柄でも、人によっては、または見方によっては、全く別物になってきます。子どもたちはこれから、様々な国籍や人種、思考をもつ人たちとともに生きていくことになります。互いに理解し合うためには言葉を交わし、意見を交わすことが大切なのだと思います。そんな思いで、子どもたちに身につけさせたい資質・能力として「故郷・地域に思いをよせて活動する力」を設定しています。

新年度、6月2日から6日までの4日間、サンドレイク小学校児童数名が本校と一緒に学習をする予定であります。千歳とアンカレジの子どもたちがともに学び成長していくことを支援したいと考えています。



児童会役員認証式 新執行部スタート！！



2月12日（水）に児童会役員認証式が行われました。4月から会長の川西さんを中心に高台小学校をみんなの笑顔であふれた学校にしたいと思います。

【会 長】川西輝空（5-1）
【副会長】坂口広耀（5-2）、加茂惟翔（4-1）
【書 記】柏村美羽（5-2）、千葉琉生（4-1）
佐藤蒼依（3-1）



サケの赤ちゃんを送る会 稚魚を水族館へ 卒業に込めた思いを習字で ～地域の協力に感謝～



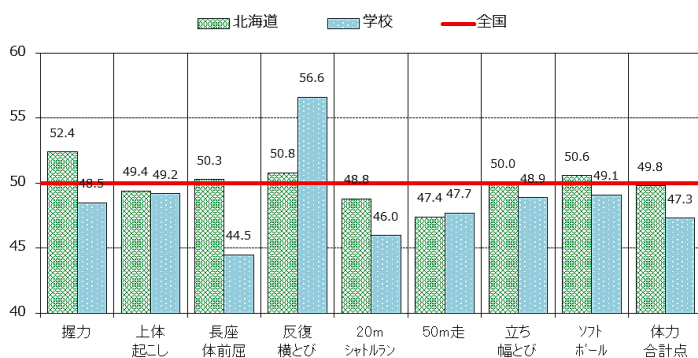
2月12日にサケの赤ちゃんを送る会を行いました。高台小学校で孵化したサケの赤ちゃんを水族館へお返ししました。この間、サケボラの児童を中心に世話や観察を行ってきました。4年生によるサケに関する発表も行いました。



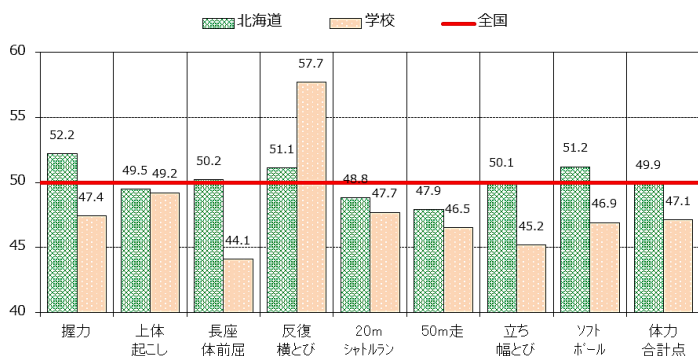
2月20日・21日、6年生が卒業へ向けて書道作品の制作を行いました。地域の書道教室の3名の先生方にご協力をいただき、子どもたちはのびのびと筆を走らせていました。

全国体力・運動能力 及び運動習慣等調査結果について

実技調査T得点（男子）



実技調査T得点（女子）



3月行事予定

日	曜	行 事
1	日	
2	月	・臨時休校
3	火	・臨時休校
4	水	・臨時休校
5	木	・臨時休校
6	金	・臨時休校
7	土	
8	日	
9	月	・臨時休校
10	火	・臨時休校
11	水	・臨時休校
12	木	・臨時休校
13	金	・臨時休校
14	土	
15	日	
16	月	・臨時休校
17	火	・臨時休校
18	水	・臨時休校
19	木	・卒業式(6年)・臨時休校(1～5年)
20	金	<春分の日>
21	土	
22	日	
23	月	・臨時休校
24	火	・臨時休校
25	水	<学年末休業>

7月に実施（5年生）した「全国体力・運動能力及び運動習慣等調査」の結果が届きました。

男子は8種目中3種目（「50m走」「反復横跳び」「上体起こし」）が昨年度を上回りました。全国平均を超えた種目は昨年度の4種目から1種目（反復横跳び）になりました。

女子は8種目中5種目（「50m走」「20mシャトルラン」「反復横跳び」「長座体前屈」「上体起こし」）が昨年度を上回りました。全国平均を超えた種目は昨年度の3種目から1種目（反復横跳び）になりました。

男女ともに「反復横跳び」は全国平均を大きく上回り、走力も伸びてきています。今年度7月に「高リンピック」として全校一斉に新体力テストを行った成果と考えています。新年度は課題解決に向けて学校全体で取り組み、記録を出すことへの全体の結束力を高め、持てる力を充分発揮し、自己新記録への道を切り拓こうとする児童を育成していきます。

帰宅時間が午後5時になります

3月1日から午後5時に「愛の鐘」がなりますので、それまでには帰宅できるようにしましょう。